

【受益者の皆様へ】

2012年5月22日
野村アセットマネジメント株式会社

「円のチカラ 12-04」

2012年5月17日現在の資産内容について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2012年4月13日に設定しました、「円のチカラ 12-04」(以下、ファンド)の同年5月17日現在の資産内容についてお知らせいたします。

資産内容 (2012年5月17日現在)

ポートフォリオ特性値	
平均格付	A
平均最終利回り	1.3%

資産別配分	
資産	純資産比
債券	98.0%
その他の資産	2.0%
合計	100.0%

組入上位 5 銘柄

銘柄	純資産比
シティグループ・インク 第22回円貨社債	10.5%
ウェストパック・バンキング・コーポレーション 第5回円貨社債	10.4%
ロイズ・ティーエスビー・バンク・ピーエルシー 第1回円貨社債	10.3%
アフラック・インコーポレーテッド 第6回円貨社債	10.3%
バンク・オブ・アメリカ・コーポレーション 第3回円貨社債	10.3%

組入銘柄数
13 銘柄

- 平均格付は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均したものであり、S&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。
- 平均最終利回りは、組入債券等(現金等を含む)の最終利回りを、その組入比率で加重平均したものです。平均最終利回りは、あくまで組入債券等の基準日時点の市場の最終利回りを基に算出した数値であり変動します。また、売買手数料、税金等の諸費用は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、特定銘柄の価格の上昇・下落を示唆するものでも、その銘柄の売買の勧誘・推奨を行なうものでもありません。

今後とも「円のチカラ 12-04」をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上

【投資リスク】

ファンドは、債券等を投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

《**基準価額の変動要因**》 基準価額の変動要因は下記に限定されるものではありません。

債券価格変動リスク: 債券(公社債等)は、市場金利や信用度の変動により価格が変動します。ファンドは債券に投資を行ないますので、これらの影響を受けます。

換金にともなうリスク: 当ファンドにおいて設定当初のポートフォリオの中心になると想定される海外の発行体が発行する円建ての公社債については、一般的な公社債に比べ流動性が低い状況となる可能性が高いこと等から、投資者の換金等により組入資産を売却する際、市場規模や市場動向等によっては、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額に与える影響が大きいものになる可能性があります。

《その他の留意点》

- ◆ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 資金動向、市況動向等によっては、また、不慮の出来事等が起きた場合には、投資方針に沿った運用ができない場合があります。
- ファンドが組み入れる有価証券の発行体において、利払いや償還金の支払いが滞る可能性があります。
- 有価証券への投資等ファンドにかかる取引にあたっては、取引の相手方の倒産等により契約が不履行になる可能性があります。
- ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。